

前橋市長 高木氏再選

金子氏に5904票差

52.40% 投票率



当選を決め、拍手の中、事務所の支持者に迎えられる高木氏=17日午後10時18分

前橋市長選開票結果

選管確定

当 66006	高木 政夫	57	無現
60102	金子 泰造	63	無新
7678	生方 秀男	60	無新

(無効 1110票)

任期満了に伴う前橋市長選は十七日、市内九十九カ所で投票が行われ、即日開票の結果、無所属で現職の高木政夫氏(57)が民主、社民支持が六万六千六票を獲得、前自民党県連幹事長の金子泰造氏(63)が自民、公明推薦、共産党前橋勢多地区委員長の生方秀男氏(60)が共産推薦の無所属新人二人を破り、再選

を果たした。投票率は52・40% (男52・09%、女52・70%) で前回は3・57%上回った。

一党一派に偏らず「市民力」の結集を呼び掛けた高木氏に対し、自民、公明両党の推薦を受けた金子氏が激突。昨夏の知事選で、高木氏が小寺弘之氏(前知事)、金子氏が大沢正明氏(現知事)をそれぞれ支援したことから、知事選の対決構図がそのまま市長選に持ち込まれた。

際だった争点がない中、高木氏は行財政改革やごみ処理無料化継続など四年間の実績を強調。民主、社民の支持を受けたものの政党色は出さず、前回の選挙戦同様、マニフェストや政策の比較ビラを効果的に使い、無党派層を取り込んだ。金子氏は福田康夫首相や大沢知事との緊密さを前面にアピール、激しく追い上げたが、及ばなかった。

生方氏は出馬表明が遅れ、政策を浸透させられなかった。

当日有権者数は二十五万七千四百二十一人(男十二万四千三百五十三人、女十三万三千六十七人)。